

快調な“きこえ”で 脳も心もすこやかに

難聴はさまざまな要因で発症しますが年齢を重ねると聴力の低下は避けられません。本人よりも周囲が先に気づくケースが多いと言われ、補聴器を装用しても改善が見られない高度難聴の場合「人工内耳」という選択肢があり「きこえ」を取り戻すための治療の一つです。当講座では長年難聴治療に取り組まれている医師より、きこえの仕組みから最新治療の現状や人工内耳の適用条件等について詳しく解説いたします。

6/28土

開場／13:00 開演／13:30(終了予定／15:30)

この講座は難聴に関係なくどなたでもご参加いただけます。

愛知芸術文化センター12階
アールスペースA

〒461-8525 名古屋市東区東桜1丁目13-2
<https://www.aac.pref.aichi.jp/facility/art-space/index.html>

アクセス

地下鉄東山線・名城線「栄」駅下車徒歩約3分
名古屋鉄道 瀬戸線「栄町」駅下車徒歩約2分
(オアシス21から地下連絡通路または2F連絡橋経由)

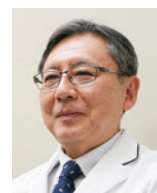
[情報保障]会場にはパソコン要約筆記を設置

スケジュール

開会挨拶

「“きこえること”の大切さ・素晴らしさ」

名古屋大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科 教授
難聴支援・治療センター長 曾根 三千彦 先生



講演
1

「きこえやすい生活を —きこえと耳鳴り—」

耳鼻咽喉科 助教
難聴支援・治療センター 小林 万純 先生



講演
2

「これからの難聴治療 ～補聴器や人工内耳で広がる人生」

耳鼻咽喉科 准教授
難聴支援・治療センター 吉田 忠雄 先生



休憩

人工内耳装用者体験発表／アンケート回答

まとめのご挨拶 名古屋大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科 教授
難聴支援・治療センター長 曾根 三千彦 先生

応募 方法

住所(〒)、氏名(フリガナ)、参加人数、参加者全員の氏名(フリガナ)、年齢、電話番号、きこえに関する疑問、質問(ある方のみ)を明記の上、右インターネット(二次元コード)又はFAXでお申し込みください。

FAX(052)952-7331 [応募締切]6月18日(金) 受講ハガキを送付します。

[お問い合わせ]NHK文化センター名古屋教室「きこえの公開講座」係 TEL(052)952-7330

※応募者多数の場合は受付期間中でも応募を締め切る場合がございます。予めご了承ください。お送りいただいた個人情報は、NHK文化センターの方で取りまとめ招待状の発送及び個人を特定しないデータとして使用いたします。

